

参議院議員

Talk Session
【トークセッション】

衆議院議員

梅村 聡

×

藤田文武

【うめむら さとし】

【ふじた ふみたけ】

with コロナ

今こそ問いたい

日本の政治のあり方

現役のお医者さん

中小企業経営の
経験者

なぜ、日本の政治はいつも動きが遅いのか？

テレビや新聞の報道を見ながら、そう思ったことはありませんか。私たちも全く同じ気持ちです。それに加えて、決まった政策が現場実態とかげ離れていたり、世界の常識から遅れていたり、私たちが日本の政治に「なぜ？」と感じる疑問はきっと世間の皆様とも同じ感覚だと思います。特に今回、

未曾有の感染症対策を行う中で、この「なぜ？」が噴出する事態となりました。これまで5度にわたって政府に提言を申し入れ、数々の対策を実現させてきた日本維新の実力派の二人、現役医師の梅村さとし参議院議員と、自らも企業経営の経験を持つ藤田文武衆議院議員が日本の政治の課題と未来を語ります。

Talk Session
【トークセッション】

-Menu-

- ・古い常識が抜けない日本
- ・民間と政治の大きなギャップ
- ・アジャイルとは何か
- ・日本維新の会が目指す政治

 日本維新の会

古い常識が抜けない日本

今回の新型コロナウイルスにおいて対策を難しくしているのは感染してから症状ができるまでに相当な潜伏期間があるという点です。これは比較的早くから指摘されていました。ただ、残念ながら日本政府の対応を見るに、「発症＝感染」という古い常識がなかなか抜けなかった様に思います。

感染初期には無症状でも高い感染力があり、症状が出る頃には感染力のピークを過ぎていくという、今までの常識とは全く異なるウイルス特性が明らかになった後も、日本政府は「発熱が続けばPCR検査」という医学的にはナンセンスとなった当初の対応をなかなか変えることができませんでした。

民間と政治の大きなギャップ

確かに、民間であれば事態が変化すればすぐに対策を打ちますが、政治の世界では一度決めたことを後から変えることに大きな抵抗感があるように感じますね。おそらく与党が方針を転換すれば、野党がここぞとばかりに、当初の対応について与党を責め立て、誤りを認めて謝罪しろ！と大臣に迫ってきた永田町の歴史によるものなんじゃないでしょうか。

梅村氏の発言
藤田氏の発言

アジャイルとは何か

今は民間でも「アジャイル」という言葉が重要視されていますよね。最初から100%間違いのないものを作るのではなくて、先ず必要最小限のところをクリアしたら実際にものごとを動かしていく。動かしながら修正していくという考え方です。特に感染症対策などは時間との勝負です。後で批判されるのを気にして議論に時間をかけすぎるのも問題ですし、後から方針転換することを「失敗」と捉えるのは日本の政治の悪いところですよ。

日本維新の会が目指す政治

そういう意味では、日本維新の会は日本の政治の世界に「アジャイル」な考え方を持ち込む唯一の勢力なのかも知れませんね。政治の世界は目立つ失敗をした勢力が退場させられる傾向が強いですが、時代の流れも早くなる中、今後は政治が何もしないことによる国民の損失にもしっかりと目を向けていく必要

があると思います。スピード感を持って政策を実行し、必要に応じて修正する。そして一方では議論の過程も明らかにして国民に全てオープンで見ってもらうというのが政治の世界でも当たり前の考え方になるように、これまでの野党とは一線を画す国会論戦をしかけていきたいですね。

Talk Session

【トークセッション 終わり】

大阪から新しい政治を実現する。日本維新の会にご支援をよろしくお願ひします。

参議院議員 梅村 聡

令和元年7月の参議院選挙(全国比例代表)で当選 2期目
現在、参議院厚生労働委員会に所属
内科医師としての豊富な知識と経験を生かして、「医療・介護制度改革」を中心に国会において精力的に活躍中。
日本維新の会 厚生労働部会長

衆議院議員 藤田文武

令和元年4月大阪12区(寝屋川・大東・四條畷)で初当選
現在、衆議院厚生労働委員会に所属
企業経営で培った現場の知識と経験を武器に雇用、労働、経済と社会保障改革の議論を進める。
日本維新の会「社会保障プロジェクトチーム」座長